

○第3回研修会（オンライン開催）

全体研修1 ICT研修

本年度JSL研究会の重点目標の一つとして「オンライン授業における指導方法の工夫」を掲げています。全国的に新型ウィルスが未だ猛威をふるい、福岡市においても収束する兆しが少ない状況下にあります。私たちは、そのような中でも外国と関わりのある児童生徒の学習の機会を保障していかなければなりません。そのために、効果的なオンライン授業ができるよう、一人ひとりがICTのスキルを向上させることが急務となっています。

今回の全体研修1では、福岡教育大学附属小学校の石橋大輔先生に付属小での実践を中心とした研修をしていただきました。ICTを取り入れるメリットは、多様な児童生徒を誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」そして、児童生徒の多様な個性を最大限に生かす「協同的な学び」です。「個別最適な学び」を意識した「指導の個別化」では、Google Classroomを活用した個々の児童生徒に応じて指導に生かす工夫の実例を見せて頂きました。また、ジャムボードを使った課題作成・課題の投稿をするという演習もあり、大変意義深い研修となりました。ICTを使った授業のメリット・デメリットも考慮しながら活用すること、そして「習うより慣れる」を痛感する時間でもありました。

また、これから先も引き続き、オンラインでの研修を想定し、越智先生からブレイクアウトルーム作成の仕方について分かりやすく説明していただきました。

- ・一つの学習項目をそれを基本にした文型で授業を行えるので勉強になる。
- ・どのような授業形態になるのかビデオを見ることができたのでとても参考になった。
- ・初めて知る内容もあり、自分でも一度試してみたいです。
- ・事前に話し合いのフォームを送ってもらっていたのでそれに沿って話し合いができた。

全体研修2 適応指導について具体的な洗いだし

全体研修2では、事前のアンケート調査をもとに適応指導についての具体的な項目の洗いだしを行いました。小中それぞれ配置校・拠点校に分かれ、年間を通しての適応指導を見直しました。また、どのような手立てがあるのかについても話す時間を取ることができました。JSL児童生徒を取りまく背景やその実態は、年々複雑・多様化してきており、児童生徒の実態に沿った支援を行うためにも、支援の工夫を適宜見直す必要があります。

- ・係り決めとその係りの方針のようなものが決まってよかったです。
- ・小学校特有の悩みや課題について話ができる「場所」があるのはありがたいです。
- ・中学部の要点が明確になった。

○小中部会

小学校・進路指導について

中学校・オンライン授業づくりについて/センター研について